

蘭浦政務官冒頭発言

- 本日は、お忙しいところ第1回ジャパン・ハウス有識者諮問会議にご出席いただきありがとうございます。日程の都合がつかず欠席された東京商工会議所常議員の櫻田厚様、SANAA 代表の妹島和世様、演出家の宮本亜門様の3名を除く14名の諮問委員にご出席いただきました。
- 私は、ジャパン・ハウス担当の外務省大臣政務官として、昨年から今年にかけてロンドン、ロサンゼルス、サンパウロの3都市全てを訪れ、候補物件になりえる物件を視察すると共に多くの現地有識者と意見交換を行ってきました。本日、国内有識者諮問会議の第1回会合が開催されることとなり、ジャパン・ハウスが本格的に始動したことを大変嬉しく思います。3都市でのジャパン・ハウス（仮称）の調達状況については後ほど事務局から報告しますが、本日お集まりいただいた皆様が、ジャパン・ハウスの趣旨に賛同いただき、有識者諮問委員としてご協力いただけることに改めて感謝申し上げます。
- ジャパン・ハウスについては既にご承知かと思いますが、第1回目の会議ということで、今一度ご説明させていただきます。ジャパン・ハウスは、戦略的対外発信強化の一環として、日本の「正しい姿」や多様な魅力を浸透させ、知日派・親日派の裾野を一層拡大することを目的として、市内一等地に設置することを計画しています。このジャパン・ハウスは、日本の新たな発信拠点として、日本に関する様々な情報がまとめて入手できるワンストップサービスを提供し、民間の活力や地方の魅力なども積極的に活用したオールジャパンでの発信を行うと共に、現地のニーズにきめ細かく対応し、現地の人々の共感を呼ぶよう工夫した発信を行っていきます。
- ジャパン・ハウスを推進する体制として、先ず現地のニーズを反映させるため、3都市には、在外公館に加え現地の外国人有識者や在留邦人を中心に構成される運営委員会が設置される予定です。調達状況にもよりますが、各都市において運営委員会の第1回会合を9月中に開催予定です。
- また、国内については、12関係府省庁6機関による連絡調整会議が設置され、本日の午前中に第1回会合を開催したところです。関係府省庁機関がジャパン・ハウスにいかなる貢献できるかという観点から、様々なご意見をいただきました。また、ジャパン・ハウスが外務省だけでなく日本政府全体の施設であるという認識を高めるため、各府省の政務官によるジャパン・ハウスの政務官会議発足に向けた準備会合を7月2日に開催し、同会議の第一回会合も、今秋までには開催する予定となっております。
- 有識者諮問委員の皆様には、四半期毎に開催される諮問会議に参加いただき、ジャパン・ハウスのコンテンツや発信内容について、ご意見をいただくことに加え、随時可能な範囲で現地の事務局や外務省からの質問に対して専門的知見に基づく助言を頂けれ

ば幸いです。また、自ら対応できない場合は、有為と思われる方をご紹介頂くなどして、
ジャパン・ハウスの支持者ネットワークを広げていただければ有り難く存じます。

- 3都市のジャパン・ハウスのブランド感の統一や一定水準のクオリティ・コントロールを行うために原研哉氏に総合プロデューサーに就任いただきました。諮問委員の皆様と連携し、ジャパン・ハウスを盛り上げていただきたいと考えております。